

第6学年「国語科」シラバス

6年生ではこんな学習をします



学習の目標

目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話したり、聞いたりすることができるようにし、進んで話し合おうとする態度を育てます。

目的や意図に応じ、筋道を立てて文章を書いたり、効果的に表現したりする態度を育てます。

目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読んだり、読書を通して考えを広げたり深めたりする態度を育てます。

学習の方法

学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して資料を収集し、学習に活かします。

見通しをもって取材をしたり、台本や原稿を書いたり、話し合ったりして目的に応じた様々な表現活動を行うようにします。

音読や朗読を通して情景描写や人物の心情を深く読み取るようにします。総合的な学習と関連を持たせ、広がりのある活動を行います。

学習の評価

国語科では次の観点で評価します。

「進んで国語科の学習ができ、幅広く読書する。」

授業への参加態度、読書ノート、提出物、発表等

「目的や意図に応じて的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりすることができる。」

行動の観察、発表、テスト

「目的や意図に応じて筋立てて文章を書くことができる。」

感想文、意見文、台本、作文、ノート、新聞等


「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。」

音読、朗読、ノート、テスト

「言語についての基礎的事項を正確に理解している。書写では文字を正しく整えて書くことができる。」

テスト、ノート、作文、発表、毛筆、硬筆

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前期	1 表現の良さを味わいながら声に出して読もう ・風切るつばさ ・(詩)野のまつり 五月 雪 漢字や辞典を活用しよう	物語の表現のよさを味わい、情景や人物の心情を想像しながら朗読し、作品の良さを味わいます。
	2 自分の意見を伝えるスピーチをしよう ・伝え合おう、わたしの意見 依頼の手紙を書こう ことわざや昔の言い方に関心を持とう	自分の考えや意図が聞き手によく伝わるように、工夫しながら話す練習をします。 
	3 文章の構成を考えながら読もう ・イースター島にはなぜ森林がないのか 気持ちのよい話し方をしよう 日本の文字に関心を持とう	文章の構成や話題の取り上げ方に気をつけて、段落の要点を読み取り、筆者のうったえようとしていることをとらえられるようにします。
	4 強く語りかけてきたことを考えながら読もう ・ヒロシマのうた しょうかい文を書こう 書写 組み立て方 筆順と字形	人物の心情や場面の描写など優れた叙述を味わいながら読み、心に強く感じたことや考えたことを引用を活かして表現します。 組み立て方を考え、字形を整えて<湖><成長>を毛筆で書きます。
	5 役割に応じた話し方をくふうして ・ニュース番組を作る	番組の構成を考えて取材したり台本を書いたりして、聞き手に分かりやすいニュースを伝えます。
後期	6 作家と作品をかかわらせて読もう 感動をリズムにのせて ・宮沢賢治	宮沢賢治の伝記や彼の作品を読み、賢治の行動や考え、生き方をより深く理解し、他の作家の作品への読書意欲を高めます。
	7 いろいろな言葉について調べよう ・言葉の意味を追って 言葉の由来に関心を持とう	文章の構成に注意して、辞典作りについて述べられていることを読み取り、言葉への関心を深めるようにします。
	8 構成をくふうして書こう ・「わたしの意見」を書こう 文末の言い方に目を向けよう 書写 筆使いと字配り 文字の大きさ	自分たちの日ごろの生活の言葉を見直して問題点を見つけ、自分の考えを工夫して書きます。 筆使いと字配りに気をつけて、<ふれあい><白い雲>や<世界平和>を毛筆で書きます。
	9 わたしたちの「未来」について討論しよう ・百年前の未来予測 文の組み立てに目を向けよう	自分が予測した二十一世紀のわたしたちの生活についての討論会を行います。
	10 人物の生き方を考えよう ・海のいのち 熟語の構成について考えよう	表現の細部に注意して物語を読み、話し合いや朗読の工夫を通して主題について考えを深めます。
	11 さまざまな表現方法を生かして ・「未来へのメッセージ」を書こう	成長を振り返るビデオ番組や文集、新聞作りなどの活動を行い、自分の将来に希望と期待を持ち、表現活動のまとめを行います。 字配りに気をつけ、<希望><未来の夢>を毛筆で書きます。

